

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 柴田 博	所管部課名	健康福祉部長寿社会課
所在地	秋田市御所野下堤5-1-1	設立年月日	平成元年7月19日
電話番号	018-829-3666	ホームページ	http://www.akita-longlife.net/
主な出資 (出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	66,140	74.5%
	(社福)秋田県社会福祉協議会	2,000	2.3%
	(公財)秋田県老人クラブ連合会	2,000	2.3%
	その他25市町村、21団体	18,666	21.0%
	合計	88,806	100.0%
設立目的	広く県民の参加を得て、明るい長寿社会づくりに関する啓発普及、高齢者の生きがいと健康づくりの推進、増大・多様化する県民の福祉の増進を図るため必要な諸事業を行い、明るい活力ある長寿社会づくりの推進に資することを目的として設立		
事業概要	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業、高齢者総合相談・生活支援センター運営受託、認知症コールセンター運営事業、介護支援専門員実務研修受講試験・研修の実施、介護サービス情報の公表事業等		
事業に関連する法令、県計画	介護保険法、秋田県第6期介護保険事業支援計画・第7期老人福祉計画(平成27年度～平成29年度)		

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

委託金・補助金が微減となったが、事業収入は前年度並みに推移し、経常収益に占める委託費・補助金の割合も前年度並みとなった。事業目標については、相談件数は目標値を上回る結果となったが、イベント参加人数は目標に達することができなかった。当期経常増減額が、469千円のプラスとなっているが、27年度事業において、自主事業を行い、県民へ適切なサービスを提供するとともに、収支均衡を図る運営に努めることとする。

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
相談件数(件)	目標	1,876	2,261	1,894	2,056
	実績	1,811	1,857	2,016	-
イベント参加者数(人)	目標	33,993	29,029	32,006	29,227
	実績	30,805	31,379	28,654	-
顧客満足度指数	目標	84	84	80	88
	実績	82	78	86	-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在)

(単位:人)

区分	理事		監事		評議員		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	H26	H27	
常勤	1	1					支給対象者 (H26年度) — 人
内、県退職者							
内、県職員							平均年齢 — 歳
非常勤	10	11	2	2	12	11	
内、県退職者	1	1			3	3	平均報酬年額 (H26年度) — 千円
内、県職員	1	1			1	1	
計	11	12	2	2	12	11	
内、県関係者	2	2			4	3	

②職員数(H27.4.1現在)

(単位:人)

区分	H26	H27	正職員
内、県退職者	4	4	
出向職員			
内、県職員			平均勤続年数 10.8 年
臨時・嘱託	17	17	平均年収 (H26年度) 5,023 千円
内、県退職者			
計	21	21	
内、県関係者			

③理事会回数

平成25年度	5	平成26年度	4
--------	---	--------	---

4 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
経常収益	152,518	151,675
基本財産・特定資産運用益	364	364
受取会費・受取寄附金	708	989
受託事業収益	82,431	82,193
自主事業収益	43,259	43,189
受取補助金・受取負担金	24,809	24,206
その他の収益	947	734
経常費用	152,545	151,206
事業費	146,535	145,687
管理費	6,010	5,519
人件費(事業費分含む)	68,846	70,201
当期経常増減額	△ 27	469
経常外収益	6	
経常外費用	6	
当期経常外増減額		
当期一般正味財産増減額	△ 27	469
当期指定正味財産増減額		
当期正味財産増減額合計	△ 27	469

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	42,055	43,175
固定資産	123,536	126,759
資産計	165,591	169,934
流動負債	3,834	4,461
短期借入金		
固定負債	32,496	36,291
長期借入金		
負債計	36,330	40,752
指定正味財産	90,127	89,579
うち基本財産充当額	88,806	88,806
一般正味財産	39,134	39,603
うち基本財産充当額		
正味財産計	129,261	129,182
負債・正味財産計	165,591	169,934

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
	47,823	36,291	75.9%

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	100.0%	100.3%	0.3%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	1096.9%	967.8%	△ 129.1%
自己資本比率	正味財産計÷負債・正味財産計×100	78.1%	76.0%	△ 2.0%
有利子負債比率	有利子負債÷正味財産計×100			

5 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	24,809	24,206	高齢者の生きがいと健康づくり事業、介護支援専門員研修事業、地域支え合い活動支援事業
委託費	82,431	82,193	高齢者総合相談・生活支援センター運営事業、介護職員等によるたん吸引等研修事業、介護サービス情報の公表事業、主任介護支援専門員研修事業
指定管理料			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 介護保険法や「秋田県第6期介護保険事業支援計画・第7期老人福祉計画」に位置付けられている事業であり、県民の福祉の増進に寄与する役割を担っている。	B 理事会、評議員会は、定款で定めている回数に加え、必要に応じて開催している。また、常勤の役員がおり、日常業務が円滑に進んでいる。	A 事業目標は3つ設定しており、いずれも達成率において高い評価となっている。今後も継続していくよう、事業運営に努める。	A 委託金・補助金の微減により、経常収益が減となったが、それに伴う費用の減に努め、収支均衡を達成することができた。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セク行動計画においては、県関与継続に位置付けられている。また、介護保険法、「秋田県第6期介護保険事業支援計画・第7期老人福祉計画」の業務を担っており、県施策における協働事業体としての役割は高い。	B 理事会及び評議員会ともに必要な回数を開催している。また、常勤のプロパー役員やプロパー職員がおり、適切な法人運営と事業実施が行われている。	A 高齢者の総合相談等については年々増加傾向にあるが、関係機関と連携し解決に向けての対応を行っている。イベントについては、事業内容の変更により参加者数は減少したが、内容の充実等を図り、顧客満足度の結果も高評価となっている。	A 当期経常増減額は469千円の増加となっており、前年度に引き続き収支均衡を達成していることから、財務状況は安定している。

III 外部専門家のコメント

・県補助金等による収入はほぼ横ばいであり、収入は安定的に推移している。
 ・剰余金である一般正味財産残高はH27年3月末で39,603千円と経常増減額に比して十分であり、財務基盤は安定している。
 ・今後、補助金等が減少するリスクに鑑みて、自主事業収益の割合を増加させることが長期的には財務状況の安定化のカギとなる。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画では、県が実施すべき事業を主たる事業とする法人に位置付けられている。介護保険法や秋田県第6期介護保険事業支援計画・第7期老人福祉計画に基づく事業を実施しており、全国一の高齢化率である本県において、その果たす役割は大きい。	B 三セクの行動計画の共通的な取組である「充て職廃止」が未実施である(理事1人)。	A 良好であると認められる。「ねりんピック秋田2017」の開催に向け、今後重要な役割を果たすことが期待される。	A 適切であると認められる。今後、財務状況の安定化を図っていくには、自主事業による財源の確保や賛助会員の確保が重要になってくる。

OH27年度重点取組法人に 選定 する (しない)